

# 産業競争力会議（第9回） 議事次第

日時：平成25年5月22日  
17:20～19:00  
場所：官邸4階大会議室

1. 開会
2. 成長戦略のとりまとめに向けた論点
3. 関係会議等における検討状況
4. 国家戦略特区（仮称）について
5. 閉会

## 配布資料：

- 資料1 : 成長戦略のとりまとめに向けた論点
- 資料2-1 : 菅内閣官房長官提出資料
- 資料2-2 : 菅内閣官房長官提出資料（参考資料）
- 資料3 : 太田国土交通大臣提出資料
- 資料4 : 山本内閣府特命担当大臣（科学技術政策）提出資料
- 資料5-1 : 下村教育再生担当大臣提出資料（概要）
- 資料5-2 : 下村教育再生担当大臣提出資料（本文）
- 資料6 : 稲田クールジャパン戦略担当大臣提出資料
- 資料7 : 茂木経済産業大臣提出資料
- 資料8 : 「インフラシステム輸出戦略」について（経協インフラ戦略会議資料）
- 資料9-1 : 猪瀬東京都知事提出資料（特区）
- 資料9-2 : 猪瀬東京都知事提出資料（標準時）
- 資料10 : 規制改革会議の活動報告（5月-②）

## 成長戦略のとりまとめに向けた論点について (議員からの問題提起の整理)

### <成長戦略の作り方・アピールの仕方>

- 成長戦略の哲学／危機感のあるメッセージ／経済成長の必要性
- ポジティブなサプライズ
- これまでの成長戦略との違い／世の中が変わった感（景色を変える）
- 施策の羅列ではない骨太な方向感の示し方／ストーリー／国民への示し方
- 目指すべき政策目標／政策運営を管理するための指標（KPI）の設定の在り方
- 成長戦略の経済効果と時間軸／成功事例の積み上げ

### <ストーリー>

- 日本経済全体をマクロで成長に導くためのパス（KPIとの関係を含む）
- 成長戦略と国民生活の変化／向上（世帯収入の増大他）
- 日本の生産人口の減少トレンドを克服する道筋
- ヒト、モノ、技術、カネの澱みの解放

### <姿勢>

- 官民役割分担／民間側の行動に期待されること／主役は民間／企業内でやれること（自己改革を促す仕掛け：まずは、隗より始めよ）
- 規制・制度改革／構造改革への道筋／継続的な取り組み姿勢
- 財政規律の堅持に対する目配り

### <残された課題・実行管理>

- PDCAサイクル／省庁横断的な推進体制
- 積み残されている課題の整理／今後の取扱い
- その他（中小企業の役割／金融と国力他）

# 健康・医療戦略について

---

平成25年5月22日  
内閣官房長官 菅義偉

# これまでの取組：スピードと実行力

- 健康・医療分野は各省にまたがる問題であり、関係府省が一体となった戦略的な取組が必要。
  - 2月に、官房長官の直轄組織として、健康・医療戦略室を内閣官房に設置。
- 総理指示などを受け、関係府省の利害が複雑に絡み合う案件について、スピード感をもって具体策をとりまとめ。
  - **4月2日の経済再生本部における総理指示とその対応**
    - **医療分野の研究開発の司令塔機能の創設**
      - ⇒「日本版NIH」の骨子をとりまとめ、4月23日の産業競争力会議に報告。
      - ⇒有識者（健康・医療戦略参与等）の意見も聴きながら、同骨子に基づき、関係府省と詳細な制度設計のあり方についての検討に着手。今後は、この検討結果を概算要求等に反映し、司令塔機能創設に向け、所要の手続きを進める。
    - **日本の医療技術・サービスを国際展開するための中核組織の創設**
      - ⇒「一般社団法人MEJ（Medical Excellence Japan）」の骨子をとりまとめ、4月23日の競争力会議に報告。
      - ⇒ロシアやUAEにおいて、総理自らがトップセールスを実施。引き続き、こうしたトップセールスも活用しながら、案件組成に向けた取組を精力的に実施。
  - **健康・医療分野におけるICTの利活用策のとりまとめ**
- 政府として戦略的に取り組むため、健康・医療分野の成長戦略として、健康・医療戦略を策定。
  - 6月半ばのとりまとめに向け、有識者（健康・医療戦略参与）の意見も聴きながら、最終作業中。

# 健康・医療戦略の骨子

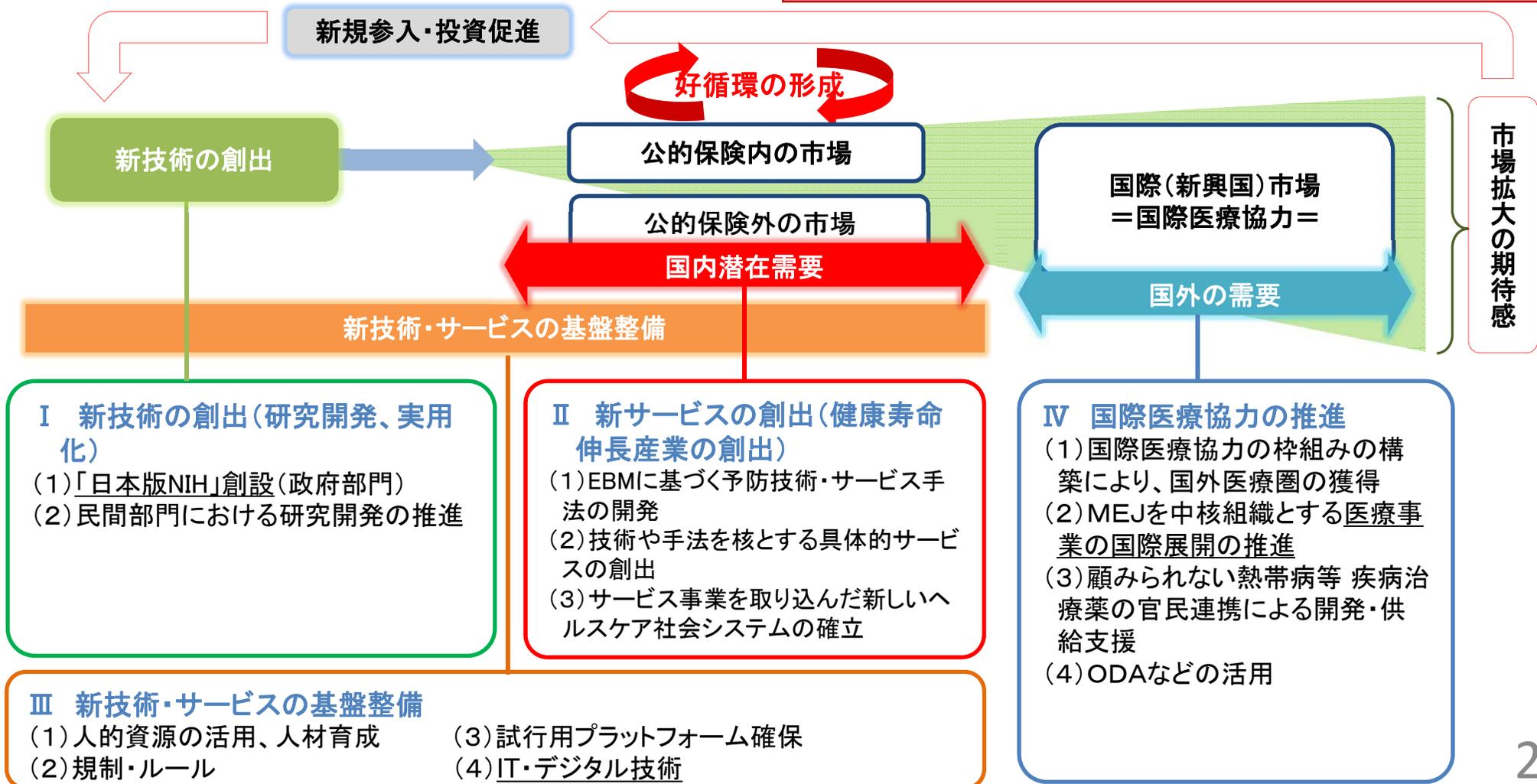
## 1. 基本的理念

- (1) 健康長寿社会の実現
- (2) 経済成長の寄与
- (3) 世界への貢献

## 2. 戦略実施にあたっての視点

- (1) 政策の重点化
- (2) 効果的・効率的な政策手段の採用
- (3) PDCAの徹底
- (4) 民間の活力
- (5) 実行力

## 3. 具体的なアプローチ



# 健康・医療分野の課題と主なICT利活用策

## 【健康・医療分野の課題】

## 【主なICT利活用策】

### 1. 患者の利便性・安全性の向上



- 1-① 医薬品の副作用データシステム [具体例①]
- 1-② 一般用医薬品のネット販売
- 1-③ 地域でのカルテ・介護情報の共有
- 1-④ 電子化してお薬手帳、母子手帳(予防接種歴等)の活用
- 1-⑤ 医療用医薬品の処方せん電子化に向けた実証事業

### 2. データの利活用による質の高い健康寿命延長サービス等の実現



- 2-① レセプト等データの利活用促進 [具体例②]
- 2-② 地域でのカルテ・介護情報の共有や、重複受診・検査の是正やかかりつけ医と病院の機能分担の円滑化などによる、医療費適正化
- 2-③ 個人の生涯にわたる医療データの管理・活用に向けた実証事業

### 3. データの利活用による医療政策の質の向上と研究基盤の強化



- 3-① レセプト等データの利活用促進 (再掲) [具体例②]
- 3-② 医薬品の副作用データシステム (再掲)
- 3-③ 地域でのカルテ・介護情報の共有 (再掲)
- 3-④ 臨床研究・治験のデータベース構築
- 3-⑤ 特定健診・保健指導や医療技術等の効果分析

### 4. ICTの利活用による医療費の適正化



- 4-① レセプト審査の充実・強化 [具体例③]
- 4-② レセプト等データの利活用促進 (再掲) [具体例②]
- 4-③ 地域でのカルテ・介護情報の共有や、重複受診・検査の是正やかかりつけ医と病院の機能分担の円滑化などによる、医療費適正化 (再掲)
- 4-④ 電子化してお薬手帳の活用 (再掲)

(注1) 本資料は、社会保障国民会議、経済財政諮問会議、産業競争力会議、規制改革会議、健康・医療戦略参与会合等で示された提言に対応したICT利活用策を整理したものである。

(注2) 「健康・医療分野における主なICTの利活用策のイメージ」(次ページ)に該当する項目番号を引用。

# 健康・医療分野における主なICTの利活用策のイメージ

← = 医療等情報の流れ  
 — = 赤線は健康・医療戦略により創出、もしくは充実される機能

イメージ中の番号は、「主なICT利活用策」総括表中の該当する番号を示す

